

災害に強いまちづくりを！ 防災対策を万全に！



広範囲に冠水した山手町

6月22日夜からの大雨により、被害にあわれた方々に、心よりお見舞い申し上げます。

6月21日の市議会一般質問で、日本共産党市議団は、地震や水害への備えについて取り上げ、市の防災対策を強化するよう求めていました。質疑の概要をご報告します。

公共施設の耐震化を

福山市は、防災拠点や避難所となる公共施設の耐震化が遅れています（支所80%、公民館65・8%、「ミニ

住宅の耐震化促進を

市の住宅耐震化率は77%で、昨年度末までの目標とした90%に達していません。

阪神大震災の死者の約8割が住宅等の損壊による圧死で、市民の命を守るため、耐震化は重要な課題です。再質問では、他市の事例を紹介しながら、耐震化補助制

学校耐震化を早急に

校舎の耐震化率も全国最低水準で、小学校63棟、中学校34棟の校舎がいまだ耐震化できていません。

他に、●仮設住宅の建設候補地選定の状況 ●孤立化の可能性のある地域の防災備蓄量 ●津波など浸水被害からの避難場所新設についてなどを質問しました。

ニティセンター31・6%）。

耐震化を100%にする期限など計画を定め、早急に進めるよう求めました。



度の拡充や新設を、重ねて求めました。

また、耐震化を進めるために、市民の事情や要望を把握するアンケートの実施を求め、市からは、「新たな取り組みが必要と認識」「今後、研究・検討したい」との前向きな答弁がありました。

子どもの命を守り、避難所確保のためにも、計画を改め、一刻も早く耐震化を完了させるよう、強く求めました。

現地調査し 対策に取り組む

大雨被害
活動報告

堤防の決壊など5河川で水があふれ、市街地が広範囲に冠水。土砂崩れや道路崩壊、農業への影響も深刻で、大きな被害が広がりました。党市議団は翌6月23日から、各地の状況や住民の要望をお聞きし、二次災害防止や復旧対策に取り組みました。

さらなる降雨が予想された中、迅速な対策を望む声が多く、「情報が入らない」「市は状況把握が遅い」などの意見もありました。

災害時の自治体職員不足は全国で問題になっています。市職員が、日頃から地域を把握し、万全の対応がとれる人員態勢が必要です。

また、河川の整備やポンプ設置など排水能力の増強、治山の取り組みなど、いっそうの防災対策が求められます。



民有地の山から流入した土砂の撤去について市・県と協議＝瀬戸町



▲手城川河口の川底の掘り下げや護岸の増強工事が進む＝東手城町



堰堤から水があふれ市職員と応急対応＝鞆町



住民の案内で被害箇所を見回る＝熊野町

市に緊急要望

6月27日、被害対策を求める9項目の緊急要望書を市に提出しました。

- 避難場所の増設を
- 高齢者などにきめ細かな対応を
- 早めの避難指示と連携強化を
- 被災者救済に補正予算を
- 民有地も助成を
- 山林、農地の補償制度活用を
- 市社協と連携し、ボランティアなどの支援を（一部概略）

福山市でも、いつどんな災害が起こるか分かりません。「想定外」を防ぎ、被害を最小限にとどめるため、行政の万全の備えを求め、引き続き取り組みます。



日本共産党

4月の市議選で、4人全員議席を確保させていただきました。安心して住み続けられる福山市をめざし、市民のみなさんとともに、力をあわせ引き続きがんばります！



村井あけみ

村井あけみの奮戦記 検索
TEL.084-941-2366
FAX.084-994-1767
Eメール murai@f-jcp.com



高木たけし

たけし通信 検索
TEL.084-972-6830
FAX.084-972-6830
Eメール takagi@f-jcp.com



土屋ともりのり

土屋ともりのりよまブログ 検索
TEL.084-957-2304
FAX.084-957-2401
Eメール tsuchiya@f-jcp.com



河村ひろ子

ひろ子ワールド 検索
TEL.084-965-6049
FAX.084-962-1928
Eメール kawamura@f-jcp.com